



## 主な内容

P2 平成22年第3回定例会補正予算

P4 討論・賛否表

P5 議決結果

P6 請願・意見書

P7 常任委員会報告

P10 一般質問

P19 議会基本条例

P20 会期日程・編集後記

# し、総額274億6千万円に

## 9月議会の概要

平成22年第3回定例会は、9月1日から24日までの24日間開催されました。

今回は平成22年度一般会計補正予算や条例改正など22議案を審議しました。

一般質問には16議員が立ち、市長など執行部と活発な議論をかわしました。

## 主な事業

### 第3回補正予算

#### ○口蹄疫緊急対策事業 2850万3千円

緊急性を要するため6月25日に専決処分された議案を承認した。

専決処分とは

議会が議決または決定すべき事件について、特別な場合に長が議会に代わってこれを処分することをいう。一番多いのは「議会を招集する時間的余裕がないことが明らかである」という理由によるものである。



車両の消毒ポイント

### 第4回補正予算

#### ○振興基金積立金 5億1817万9千円

関係自治体が出資して県央地域広域市町村圏組合に設けられた「ふるさと市町村圏基金」の廃止に伴う返還金を振興基金に積み立てるもの。

#### ○公共交通対策事業（鉄道軌道輸送対策事業） 626万円

踏切事故により島原鉄道車両が一両破損したため、新



島原鉄道

# 一般会計補正予算（平成22年度）

## 13億8千万円を追加

規に購入することになった。島鉄、国及び県を含む地元自治体（島原市、諫早市、雲仙市）が各々1/3ずつ負担。

県を含む地元自治体負担分1/3について、1/2を長崎県、残りの1/2を3市で負担。

### ○福祉医療費支給事業 435万2千円

福祉医療費支給対象者として新たに父子家庭における父と子を対象とすることになった。

### ○繰上償還元金 6億8962万8千円

平成21年度の決算により生じた剰余金を雲仙市の借金返済にあてることとした。

### ○社会資本整備総合交付金事業 2500万円

市道小浜仁田峠循環線は、幅員狭小で急勾配・急カーブも多い。また濃霧・積雪・凍結等多発するため、交通規制や路面状況等を運転者へいち早く発信するため、道路情報装置を設置する。



道路情報装置

## 第5回補正予算

### ○水産振興奨励事業 74万7千円

稚魚や稚貝の放流 費用の補助。

### ○赤潮等被害緊急対策事業 1219万8千円

赤潮等の影響により、被害を受けた漁業者に対する支援を行うもの。



赤潮被害の状況

# 討 論

## 議案第83号 損害賠償額の決定及び和解案について 「否決」

### 反対討論

この議案は、産業建設常任委員会の採決は否決であります。

賠償事案は、道路管理者の管理瑕疵10対0と保険会社の査定及び弁護士判断を受けていますが、事故状況が正しく理解された上での判断であるのか疑問であります。

1点目は、事故現場が降雨による道路上の冠水状態の認識が、支所長及び警察は一致していますが被害者からの聞き取り内容は違っています。

2点目は、被害者は走行速度について事故箇所の手前で道路の異常に気付き減速し、時速約30kmで走行し事故が起きたと述べておられます。

弁護士は、被害者は事故の発生は予見できないと判断されていますが、事故現場の状況及び道路の異常に気づき、減速して通行されたことは事故発生の予測を十分予見されたものと思われま

す。保険会社は、被害者は徐行して通行したと判断されていますが、降雨により13cmから15cm冠水した道路を、聞き取りからは時速30kmで走行し、道路の横断側溝蓋に車両底板が接触した時エアバッグが作動し、さらに約7m前進し、石垣に衝突されています。

徐行（直ちに停止できる速度）して通行していたなら、このような事故になるでしょうか疑問であります。

また、本賠償事案に対して執行部の説明は2回の全員協議会、議案質疑及び常任委員会での説明に一貫性がなく、調査・協議・精査が不十分な議案であります。執行部の賠償事案に対する真摯な取組みを強く要望し、被害者への賠償時期が遅れますことをお詫び申し上げ、反対討論と致します。

（浦川康二議員）

議案第83号の否決に伴い、議案第80号一般会計・補正予算（第4号）の関連予算24万6千円を減額した修正案が可決されました。

## 賛 否 表

	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
	結 果	表 決 数	林田哲幸	坂本弘樹	酒井恭二	平野利和	浦川康二	大久保信一	深堀善彰	前田哲	上田篤	町田康	森山繁一	前川正美	小畑吉時	元村康一	井上武久	柴田孝宣	小田孝明	岩下勝	福田大東	町田誠	岩永基和	中村一勲	中村文昭	松尾昭	
急傾斜地崩壊対策事業分担金徴収条例の制定	可決	25:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	25:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
損害賠償の額の決定及び和解	否決	18:6	○	○				○			○		○					-			○						
平成22年度一般会計補正予算（第4号）	修正可決	19:6			○		○	○		○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成      ×は反対      △は欠席      -は棄権

# 平成22年第3回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第74号	専決処分した事件の承認について(平成22年度雲仙市一般会計補正予算(第3号))	承認
議案 第75号	長崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決
議案 第76号	島原地域広域市町村圏組合規約の変更について	原案可決
議案 第77号	ふるさと市町村圏基金の廃止に伴う財産処分について	原案可決
議案 第78号	雲仙市急傾斜地崩壊対策事業分担金徴収条例の制定について	原案可決
議案 第79号	雲仙市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第80号	平成22年度雲仙市一般会計補正予算(第4号)案について	修正可決
議案 第81号	平成22年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)案について	原案可決
議案 第82号	平成22年度雲仙市老人保健特別会計補正予算(第1号)案について	原案可決
議案 第83号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案否決
議案 第84号	平成22年度雲仙市一般会計補正予算(第5号)案について	原案可決
請願 第3号	未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の1/2復元と制度堅持を求める意見書の採択要請についての請願	採 択
請願 第4号	教育予算を拡充し、30人以下学級の実現を求める意見書の採択要請についての請願	採 択
諮問 第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決
諮問 第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決
諮問 第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決
発議 第3号	未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の2分の1復元と制度堅持を求める意見書について	原案可決
発議 第4号	教育予算を拡充し、30人以下学級の実現を求める意見書について	原案可決

# 請 願

～市民の声を議会へ～

今定例会で受け付けた請願の審議結果は次のとおりです。

## 請 願 未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の1/2復元と制度堅持を求める意見書の採択要請についての請願

提出者：長崎県教職員組合 三海総支部 総支部長 井上敏彦

紹介議員：町田誠議員、福田大東議員、大久保信一議員

採決結果：**採 択**

## 請 願 教育予算を拡充し、30人以下学級の実現を求める意見書の採択要請についての請願

提出者：長崎県教職員組合 三海総支部 総支部長 井上敏彦

紹介議員：中村一明議員、岩永基和議員、小田孝明議員

採決結果：**採 択**

# 意見書

## 未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の2分の1復元と制度堅持を求める意見書（抜粋）

平成18年度において、義務教育費国庫負担制度は堅持されたものの、義務教育費の国負担率は2分の1から3分の1に下げられました。また、地方分権改革推進委員会は平成21年11月9日、「第4次勧告」を発表し、地方分権改革推進計画の早期策定を政府に求めました。勧告では国庫補助負担金の一括交付金化にかかわって「社会保障や義務教育関係を除く」としていますが、政府は地域主権戦略会議を立ち上げ、都道府県から基礎自治体（市町村）への権限委譲について検討しています。現在、義務教育費国庫負担金が減額された分は地方交付税で措置されています。県市町ともに財政の厳しい中、全国的な教育水準を確保し、安定した地方財政を構築するためには、義務教育費国庫負担率を2分の1に復元すべきです。

## 教育予算を拡充し、30人以下学級の実現を求める意見書（抜粋）

- 1、教職員が子どもとしっかりと向き合い、きめの細かい教育が実現するために教員定数改善計画を実施し、30人以下学級を実現すること。
- 2、学校施設整備費、教材費、図書費、旅費、学校・通学路の安全対策など教育予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。

以上、地方自治法99条の規定により意見書を提出する。

内閣総理大臣 菅 直人 様  
総務大臣 片山 善博 様  
財務大臣 野田 佳彦 様  
文部科学大臣 高木 義明 様

平成22年9月24日  
長崎県雲仙市議会

# 常任委員会報告

付託案件	審議結果
長崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決
島原地域広域市町村圏組合規約の変更について	原案可決
ふるさと市町村圏基金の廃止に伴う財産処分について	原案可決
平成22年度雲仙市一般会計補正予算（第4号）案について	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決4件と決定しました。

主な案件の質疑内容は次のとおりです。

**ふるさと市町村圏基金の廃止に伴う財産処分について**

**質疑** 本基金が廃止されるに伴い、原資が返還されると思うが、その運用活用については。

**答弁** 雲仙市振興基金に積み立てて活用したい。

平成22年度一般会計補正予算（第4号）

主なものとして、歳入では普通交付税、前年度繰越金の増額、ふるさと市町村圏基金返還金、現年農地・農林業施設等災害復旧事業債の新規計上。歳出では振興基金積立金、地方債繰上償還元金の新規計上、公共交通対策事業（鉄道）の増額を計上した。

**質疑** 公共交通対策事業について、鉄道車両1両あたりの価格は。

**答弁** 1両あたり1億4680万円である。

**質疑** 平成21年8月8日の踏切事故による鉄道車両不足に伴い1両購入となつているが、島原鉄道の車両保険などの対応は。

**答弁** 車両保険には加入しているが、相手方、保険会社と現在も示談交渉中であり、保険金は決定していない。当該事故車両を修繕する場合、1億円相当額が必要との見積りであり、車両の法定耐用年数が11年で、当該事故車両は既に9年間使用していることから保険代金で対応できない。島原鉄道自治体連絡協議会に対し、今回、国、県、関係自治体による協調補助事業により、新規車両購入をお願いしたい旨、島原鉄道から説明があつた。

**質疑** もし保険金が入れば、その分は戻るのが。

**答弁** その負担割合に応じて保険金が支払われる予定である。

**質疑** 消防団員確保対策事業について、現在の定員に対する充足具合は。

**答弁** 条例定数は、1652名であるが、9月1日現在で1560名、92名の欠員数がある。

**質疑** 消防団員確保対策事業において、ケーブルテレビ、回覧板により団員を確保していきたいと説明があつたが、それで確保できるのか。

**答弁** 本事業はソフト事業のみに限られており、最適だと思われるものを選んでいく。

**質疑** 徴税システム管理事業について、eLTA Xシステムの導入により、従来、紙ベースで行つてきた確定申告の情報のやりとりを、データで行うということだが、平成21年度市役所、税務署での受付割合、またどの程度紙ベースで情報のやり取りをしていたのか。

**答弁** 市役所での受付が2分の1、商工会、税理士、自分で税務署に行かれる方が2分の1、約8800件程度である。

**質疑** 地方債元金償還金について、繰上償還を平成22年9月25日にするのと平成23年3月25日にするのでは、どういった違いが見込まれるのか。

**答弁** 平成22年9月25日に繰り上げ償還すると利子軽減額が約4800万円見込まれるが、平成23年3月25日に行くと約4100万円となり、その差が700万円となる。議決をいただけると思うので、対応したい。

**質疑** 平成22年度の普通交付税を平成21年度ならびに平成18年度と比較するとどうなのか。

**答弁** 平成21年度と比較すると約8億5090万円の増額、平成18年度と比較すると19億3825万円の増額となつている。

**質疑** 普通交付税が増額している理由は何か。

**答弁** 三位一体の改革により、普通交付税が大幅に減らされたので、地方の財源を臨時的に確保するという地方の声が反映されたのではないかと思う。

## 総務



審議状況

# 常任委員会報告

付託案件	審議結果
雲仙市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
平成22年度一般会計補正予算（第4号）案	原案可決
平成22年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案	原案可決
平成22年度老人保健特別会計補正予算（第1号）案	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決4件と決定しました。  
**主な案件の質疑内容は次のとおりです。**

平成22年度一般会計補正予算（第4号）案

### 質疑 小学校施設整備費

国庫負担金の減額について、愛野小学校校舎増築工事が、教室そのものの増築でないため負担金の対象とならなかったことで減額されているが、工事費の財源はどうなるのか

**答弁** 安全・安心な学校づくり交付金140万9千円、義務教育施設整備事業債（合併特例債）1,660万円、一般財源86万7千円での対応となる。

**質疑** 精神保健事業について、自殺予防対策の内容は。

**答弁** 自殺と深い関係があると考えられるうつ病の早期発見、早期治療を推進するために、うつ病の初期に現れやすい不眠状態に着目し、「睡眠キャンペーン」に取り組み、キャンペーン周知リーフレットの配布、公共施設や医療機関などにポスターの掲示及び睡眠キャンペーンについての健康教育の実施を考えている。

平成22年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案

## 文教厚生

平成22年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案

### 質疑 国民健康保険税賦課徴収事業についての増額の理由は。

**答弁** 5名分の徴収嘱託員の報酬や社会保険料等の増額で、当初予算において一般会計に計上していたが、補助事業の内示を受けたことに伴い、今回、下半期の予算を国保特別会計に予算措置を行う。

**意見** 国民健康保険証の交付方法について、現在郵便により郵送されているが、窓口での直接交付や郵便書留など郵送方法について、次回交付時期までに検討してはどうか

未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の2分の1還元と制度堅持を求める意見書の採択要請についての請願

全国的な教育水準を確保し、安定した地方財政

を構築するために、義務教育費国庫負担率を2分の1に還元することを含め、義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の提出を求められたもの。

教育予算を拡充し、30人以下学級の実現を求める意見書の採択要請についての請願

きめの細かい教育が実現するため、教員定数改善計画を実施し、30人以下学級の実現と、学校施設整備費、教材費、図書費など教育予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算の拡充を求める意見書の提出を求められたもの。

【現地調査】  
 ・愛野小学校  
 ・吾妻中学校



審議状況



現地調査 吾妻中学校



現地調査 愛野小学校

# 常任委員会報告

付託案件	審議結果
専決処分した事件の承認(平成22年度一般会計補正予算(第3号))	承認
急傾斜地崩壊対策事業分担金徴収条例の制定	原案可決
平成22年度一般会計補正補正予算(第4号)案	修正可決
損害賠償の額の決定及び和解	原案否決

本委員会に付託された左記の案件について、承認1件、原案可決1件、修正可決1件、原案否決1件と決定しました。

主な案件の質疑内容は次のとおりです。

**質疑** この要件を満たさない危険箇所への対応は、**答弁** 市内に危険箇所が268箇所、そのうち県費補助対象事業の採択要件を満たしている危険箇所が136箇所あり、まずは率先してこの事業を推進していきたいと考えている。その他の箇所については、市の財政状況他市の事例などを考慮し、

雲仙市急傾斜地崩壊対策事業分担金徴収条例の制定

**質疑** 車両消毒に使用した薬剤は何か。  
**答弁** ビルコンという薬剤を約千倍に薄めて車両に噴霧した。国道57号の消毒ポイントにおいては近くに民家が密集しており、食酢を約千倍に薄めて実施した。

専決処分した事件の承認(平成22年度一般会計補正予算(第3号)案)  
口蹄疫緊急対策事業を計上したものを。  
**質疑** 道路の設置又は管理の瑕疵に起因して発生した事故について、損害賠償の額を決定し、これに伴う和解を行うことについて、議会の議決を求められたもの。

調査・研究していきたい。  
損害賠償の額の決定及び和解

## 産業建設

**質疑** 雲仙警察署から「当時の現場の状況は道路を横断して川のように水が流れており、水量は13cm〜15cmくらいあったと思われる、側溝蓋があるのかないのかもわからず、車で通行するのは非常に危険な状態で、現場検証で運転者の方にも注意をしている」との話を聞いている。愛野総合支所長は「現場に着いた時、雨水の流れで側溝蓋の吹き上がりは確認できなかった。」との答弁である。担当課、警察、愛野総合

支所長の見解の相違について。

**質疑** 過失における注意義務違反とは、一般人が事物の状況に応じて通常なすべき注意を怠ったことを言うが、警察・愛野総合支所長の現場の状況説明によると、そこを通行する運転者は危険を感じ注意をすべきである。

**質疑** 諫早湾水産振興特別対策事業の効果は。  
**答弁** 平らな所よりも畝状になった状態の方がアサリの育成に適しているとのことで、これまでも実績が出ています。今年度もアサリの稚貝放流を瑞

穂漁協で計画されており、実施にあたっては生育環境づくりも必要である。  
**意見** アサリの水揚げが減少している中で、市は補助金を出すだけではなく、原因究明や追跡調査をするべきである。

**質疑** 雲仙音楽祭事業について、事業目的に交流人口の拡大、観光振興とあり、集客を2千名見込んでいるとのことであるが、その数字の根拠は。  
**答弁** 昨年開催された長崎市、佐世保市の入場者数などを参考にし、宿泊客500人、日帰り客1500人を目標としており、著名な音楽家を招いたり、宿泊に結びつくようなプログラムを作成することで誘客を図りたい。

議案第83号の否決に伴い、議案第83号に係る予算について減額修正する動議が提出された。

事故現場の調査

平成22年度一般会計補正予算(第4号)案

瑞穂漁協で計画されており、実施にあたっては生育環境づくりも必要である。



事故現場の調査

があつていたのも事実である。担当としては弁護士への「被害者の方は事故を予見できなかった」「過失相殺10対0」との見解により、過失割合を10対0とした。

# 一般質問

16名の議員が登壇し、市政に対する質問を行いました。



平野 利和..... P 10	浦川 康二..... P 12	前川 治..... P 14	小田 孝明..... P 16
大久保正美..... P 11	中村 勲..... P 13	岩下 勝..... P 15	福田 大東..... P 17
町田 誠..... P 11	森山 繁一..... P 13	深堀 善彰..... P 15	柴田 安宣..... P 17
町田 康則..... P 12	小畑 吉時..... P 14	酒井 恭二..... P 16	上田 篤..... P 18

一般質問は、質問者自身が議事録をもとに原稿を作成しています。

**奥村市長** 平成21年9月雲仙市国保財政健全化対策会議を設置し、財政健全化へ向けた議論を開始した。文教厚生常任委員会の付帯決議を踏まえ3項目を指標とし、給付と負担の原則に基づき歳入の拡大と歳出の抑制をすため取組みを実施して

**平野議員** 逼迫した国民健康保険の運営状況は、どのようになっているか6月議会にて、文教厚生常任委員会にて滞納徴収の強化や、医療費の抑制対策など付帯決議を提案し本議会で可決している。被保険者の急激な保険料負担を考慮し、段階的な引き上げを要望しているが今後の対策は。

## 国民健康保険税の運営状況は

ひらの としかず  
**平野 利和** 議員  
国見町



**東市民生活部長** 市は、早期発見、早期治療により、心の健康を保つ為の

**平野議員** 精神的な病のうち病について市の取り組みを尋ねたい。公明党は、党内にうつ対策ワーキングチームのプロジェクトを立ち上げ、薬物療法に加え、認知行動療法と併用の普及を政府に提言、その結果今年の4月より保険適用が実現した市の対応状況は。



## 市のうつ病対策は

**東市民生活部長** 市民に不公平感を与え、納税意欲の減退につながるよう、徴収体制の強化と健診受診率向上対策に取り組む。

**平野議員** 透明性、公平・公正性を確保し適正な入札制度の運営を要望する。

**畑中総務部長** 市としては公共工事の発注に対し、地場産業の育成、発展、雇用の確保及び地域経済の活性化を図る事を念頭に置き、入札の執行を掲げている。

**平野議員** 今年1月に入札参加資格の申請が出され、6月議会に採択されたが雲仙市内に本社がある業者が、市発注工事の受注が少ないのはなぜか。市の工事は、市内に本社がある業者に仕事をしてもらうのが、あたり前ではないのか。

## 市発注工事の市内本事業者の受注状況は

対策に取り組んでいる。今年度はうつ病の9割が不眠症があらわれ、働き盛り世代で2週間以上不眠が続くと、うつ病が疑われる。その事を、周知する睡眠キャンペーンに取り組む。



おおくぼ まさみ 吾妻町  
大久保正美 議員

口蹄疫等の感染症  
に対する今後の  
初め対応と拡大  
防止策は

**大久保議員** 経済的打撃は畜産関係に止まらず観光経済や農産物の流通など地域経済にも打撃を与えた。予防対策や初め対応と事前準備の重要性から殺処分された家畜の埋却用地について、私有地は個人の状況の変化など将来的に流動的である。埋却後の環境問題等も考慮した公有地としての安定的な確保が必要。ひまわりやコスモスなどの花畑程度の維持管理で、万埋却用地として利用されても再び花畑と成れば鎮魂としても又、景観も良いのではないか。

**奥村市長** 市にも埋却用地確保の努力義務が課せられている。牛舎は高い

山の手にも多く、平地の埋却候補地にひまわり等の畑というのも今後検討に値すると思う。

**大久保議員** 役所の対応が遅い。島原半島は陸の孤島であり唐比・森山・締め切り堤防入口の3箇所の消毒ポイントを置くように要請をしたが、2週間経ってやっと消毒体制に入った。

**酒井農林水産商工部長** 遅れた事は、今後の検討材料とする。

## 平成22年度 入札制度改定は

**大久保議員** 制限付一般競争入札の拡大における設計図書等の入手方法の変更等の説明会に128業者・149名が参加。その時、設計図書等は自社でダウンロードするか、管財課窓口で有償で入手し、決して貸し借りをしてはいけない。市では談合発生防止に努めている。と書面に大きな字で書かれ詳しい説明がされたが、その後の入札において競争相手の業者から設計図書等を借りて入札に参加し、落札契約しているのは事実か。

入札に参加し、落札契約しているのは事実か。

**畑中総務部長** 事実である。

**大久保議員** 談合が有ったとは言わないが自社で入手せず競争相手から借りて入札に参加、そして落札契約。これがまかり通る役所は、とても尋常ではない。

その他、舗装の制限付競争入札では地元業者は殆ど参加できない。平成22年度は制限付事業の拡大で工事数は増加し、制限が付くため参加業者はいつも同じ業者。調べてはいるがこの中で本当の舗装業者は何社か。

**畑中総務部長** 1社である。

**大久保議員** 本当の舗装業者でない業者も入れるなら1000万円以上の制限を付けずに参加させたらどうか。



消毒作業状況



まちだ まこと 千々石町  
町田 誠 議員

## 国道57号の 改良は

**町田議員** 国道57号の現状は、急速な経済発展により建設当時では想定できない車両数の増加により、土日祝日には車の渋滞となっている。7月30日中村知事に愛野小浜バイパス路線への早期指定を要望する提案書が雲仙市から提出された。理由として島原半島西部の雲仙市愛野町から小浜町まで国道57号のみであり災害時や緊急時の代替道路がなく、危機管理対策上十分でない。しかしバイパスの建設費は高額であり、実現した場合国道57号沿線が疲弊することが危惧され、千々石町住民の意見を集約し判断すると、国道57号を4車線への拡張改良の声が非常に

高い。市長の説明を。

**奥村市長** 国道57号改良については現実的に交通安全対策や防災対策などのため、局部的な改良を実現可能な箇所から順次整備する。

**町田議員** 危機管理防災課より発行された県活断層雲仙活断層群の調査により見てとれるように千々石断層の上を通る計画でどうして緊急避難道あるいは緊急用道路なのか、地震またその他の災害の時真っ先にこのバイパスが被害を受け通行止になり県に要望した理由に該当しない道路計画である。

## 市道千々石 字下倉線道路 拡張は

**町田議員** この道路は合併前からの計画であり、今日は要望内容を変え、費用対効果の面も十分考えた上での提出で、つづれ地の件も地権者のご理解をいただき早期完成で

期待できるのか。

## 医療施設の 充実は

**緒方建設整備部長** 安全性の向上など一定の効果を確認するため拡張改良を行い、住民が安心して通行できるよう整備することが有効と考えている。

**町田議員** 次期指定管理者申請書を保健組合は22年5月21日付で受け付けているが今後の運営について尋ねる。まずは、現在まで地域医療に貢献していただき23年3月31日をもって終わられる現在の指定管理者に対して心より敬意を表す。私の心境とすれば痛恨極むところである。次期指定管理者の苑田会も今までの指定管理者同様の診療科目それ以上の診療科目が期待できるのか。

**奥村市長** これまで同様現況の15の診療科目を基本協定書に記載し、交わっている。



奥村市長 調査等について協議したい。

奥村市長 調査等について協議したい。

## 橋湾漁業 赤潮対策は

**町田議員** 橋湾では昨年大規模な赤潮被害があり、今年もハマチ等5万4110匹、5585万円の被害が出ている。しかし、へい死魚の処分費用が100万円を超えていないため県の補助金が出ない。市の支援策は、

**町田議員** 振興対策として、稚魚放流事業で地元負担を軽減できないか。

**酒井部長** 検討する。

**町田議員** 赤潮が続くことになると、漁業をする人はいなくなると言っても過言ではない。ぜひその前に調査研究と抜本的な対策を考えるべきだ。

## 雲仙市内に本社を有する企業優先対策は

**町田議員** 橋湾の茂木漁協の車エビの水揚げ高をみると、諫早湾干拓堤防ができた平成10年から下がりが続いている。これは汚なくなつた干拓の調整池の水を、昨年でも2日に1回の173回排水門を開けているためと思わ

**町田議員** 今年、雲仙市災害連絡協議会より入札参加資格に関する請願が出された。この請願は、雲仙市内に本社を有する企業を、市内に営業所だけ置く企業と比べて優先

してもらいたいという請願である。市内に本社がある企業は、雇用においても、税収からも、又、わが市は断層の上であり、地震等災害緊急時には、市内に本社がある企業の役割が必要不可欠だと思う。そこで、国も従業員が消防団員となつている企業を消防団協力事業所として認定し、富山県、長野県や、富山市、日光市、松江市などでは、入札参加資格審査で評価点を大幅に上乘せする措置を導入している。市民の生命財産を守る消防団員の数をもっと入札に加算する事は、市民の理解を得られると思うが。

**畑中総務部長** 建築入札や物品納入においても、基本的に市内の本社への優先発注を基本として取り組んでいる。

**町田議員** 消防団協力事業所をもっと評価することで、市内企業を守ることにするので、ぜひ検討を提案する。



浦川議員 第2次行政改革大綱の特性は

## 第2次行政改革大綱の特性は

**浦川議員** 第2次行政改革の調査重視項目が推進委員会に示されているが、今後の5年間の特性をどのように考えているか。

**畑中総務部長** 5年後は合併特例期間が終了し、その後段階的に予算規模が縮小していくので行政ニーズ、職員削減、事業見直し等平成33年度以降の雲仙市を見据えて行革に取り組む。

**浦川議員** 第2次行政改革は雲仙市の行政基盤の確立期間である。合併特例終了後を含め、長期的視

点での策定を期待する。  
陸上競技場・サッカー場建設の方向性は

**浦川議員** 基本計画を議会や自治会長等に説明し、十分な精査をされた結果、建設の方向性は。

**塩田教育長** 愛野運動公園は多額の費用が投じられた施設であり、ソフトボールや野球に使用できない等、指摘が非常に強いことから、今回の陸上競技場建設は断念する。陸上競技場は今後の構想として考えていきたい。

**浦川議員** 百花台へのサッカー場建設について県との協議経緯及び市長と知事との協議結果は。

**奥村市長** 担当部局と協議しているが、見直しはきびしい。知事とは話をしていない。

**浦川議員** 雲仙市として最善策である百花台への

サッカー場建設を、知事の政治的決断により、実現できるよう、市長自ら積極的に協議されることを再度提案する。

## 市民が情報化に対応できるIT教育は

**浦川議員** 市は情報の大容量化、高速に対応できる情報通信基盤を促進し、行政と民間が相互の情報伝達に取り組み、市民が情報化に対応できるIT教育に努めると計画されているが、その現況は。

**畑中部長** IT関係の講座は、初心者向けパソコンの基本操作及びインターネットの使用を基本ベースでやっている。

**浦川議員** 合併後小浜と国見で講座が開催され参加者が限定されているが、各町毎の講座開催により、多くの市民が参加できるよう検討され、市民が情報化に対応できるIT教育の実施を提案する。



なかむら いさお  
千々石町  
中村 勲 議員

## 納税の現状と今後の課題は

**中村議員** 平成18年度から平成20年度までの決算書の歳入のうち市民税関係を見たところ、平成18年度に対して、平成20年度は、調額に対して収入未済額が、市民税64・9%、固定資産税39・5%、軽自動車税35・6%そして国民健康保険税24・1%となっている。その合計額は、平成20年度末で、9億9千6百万であり、平成21年度決算見込みでは、更に収入未済額が増え、11億円超になりそうである。この状況の中で、市長は、未済額について市民に対して、相談したことはあるのか。

**奥村市長** この事について

て相談をしたことはない。

**中村議員** 市税は、市制運営上基本となることは申すまでもないが、職員任せでなく、市長、副市長が、真剣に取り組むべきであるが。

**奥村市長** 過年度分を累計した部分もあるので精査しながら抜本的な対策について、真剣に取り組みたい。

**中村議員** 納税組合員のうち口座振替加入率と、その納税率は。

**東市民生活部長** 市民税3税の平均で45%、国保税52%の加入率で、納税率では、市民税98%、国保税85%となっている。

**中村議員** 平成22年度徴収嘱託職員を5名に増やし、1,692万8千円予算化されているが、平成21年度の実績は。

**東部長** 5名の本俸と成功報酬と共済費、旅費等である。21年度は4人で徴収額は、6,893万円となり効果はあっている。

**中村議員** 自治会の未加入者が多いと聞くが、加入率と、未加入者のゴミ処理など、自治会加入への勧めは、どのようにしているのか。

**東部長** 自治会加入率は現在86%となっている、加入については転入等の時に、窓口で自治会加入のお知らせ等説明し、お願いをしている。市役所の職員で自治会に加入しているかどうかは、今後調査をして指導していきたい。

## その他の一般質問

### 千々石海水浴場の管理は

- ①年度別の入場者数と、管理費について。
- ②千々石海岸のゴミ処理対策について。
- ③砂の減少問題について。

### 姉妹都市関係は

**奥村市長** 本事業は地域の求職者の雇用機会の創出を目的とし、国のふるさと雇用再生特別基金を活用、平成21年9月に市とJ A島原雲仙と委託契約を交し平成23年度まで実施、農家の期間的な労働力不足を補完するシステムが整備・構築され、農業の経営安定化を図る目的である。



もりやま しげいち  
国見町  
森山 繁一 議員

## 営農環境システム事業農援隊の現状と今後は

**森山議員** 本事業は現在どのような現状になっているのか。

**森山議員** 平成23年度で終了。市においては自主運営となっているが、平成24年度以降本事業の継続を考えているのか。

**酒井農林水産商工部長** 本事業の取り組みは、市としては平成24年度以降は他業種団体も含め、労働者の長期安定的な雇用と労働力不足の解消が図られるシステムが構築できるところの事業の推進をしたい。

**奥村市長** 平成24年度以降も対策については考えている。ある程度自分たちで組織を作って、市のさまざまな事業を活用していけば市としても支援は出来ると思う。農村社会において大変喜ばれている事業であるので、できるだけその意を酌み取りながら応援していきたい。

## 長崎国体の準備は

**森山議員** 平成26年長崎国体が開催されるが雲仙市においては、ボクシング競技、サッカー競技となっているが国体準備の状況は。

**塩田教育長** 平成22年6月29日準備委員会を設立し、平成23年度からは実行委員会へ組織を拡充し体制を整えて計画している。

**森山議員** サッカー場について百花台公園の話もあるが、場所の選定は。

**塩田教育長** 県へ百花台公園の整備を折衝しているが、なかなか厳しい。関係当局で市内への設置について現在候補地を絞り数件の候補地の内容を詳細に行っている。平成22年度中に方向性を立てていきたい。



おばた よしとき 国見町  
小畑 吉時 議員

## 高齢化対策の充実を

**小畑議員** 今、高齢化が進み全国各地自治体でその対策が進められているが、雲仙市も合併して5年目を迎え見直す時期に来ていると思うが。

**奥村市長** 総合計画の基本方針は「笑顔いっぱい健康と福祉づくり」を理念として、昨年9月福祉計画を策定し、各種の事業に取り組んでいる。高齢者福祉計画においては安心して暮らせる高齢化社会の実現を目指すために、在宅、施設サービスの充実と介護予防、生活支援の充実の基本施策を掲げ、一人暮らしや高齢者のみの世帯で援助が必要な方々の不安の解消や、安全確保、安否確認を目的とした緊急通報装置貸与事業、配食サービス、タ

クシー代の一部を助成する交通費助成事業や敬老会助成事業などを実施している。また、さまざまな相談に対応するため、保健、医療、福祉、介護が一体となった高齢者・障害者相談窓口を設置し、相談体制の充実を図っている。

**小畑議員** 高齢化が進む中、雇用の方策はないか。

**奥村市長** 国全体でも労働条件や社会に参加する年齢を再考する必要がある。余暇時間を活用した組織をつくっていくことが一つの社会雇用につながる。つけていけると考えている。

**小畑議員** 高齢者が地域で一堂に会して和気あいあいとやれるものはないか。

**奥村市長** カラオケとかいろいろな要素を含めて市内が一体となれるような高齢者の集いを考えてみたい。

## 高齢者の孤独死をどのように考えるか

**小畑議員** 一昨年から今年にかけて誰にも看取られずに亡くなるケースが数件発生している。市対策は。

**酒井市民福祉部長** 孤独死の対策については、緊急通報装置の無償設置や食事に関して不安がある方へは配食サービスを行っている。また地域包括支援センター事業や民生委員などによる見守り訪問と連携して福祉サービスに努めている。

**小畑議員** 高齢者の不明者が市内で167名になっているが、財産問題も絡んでくる。早急に調査すべきではないか。

**東市民生活部長** 戸籍上の高齢者の中で関係者がいなかったり、不明のため本人の生死が分からない、あるいは海外に移住されたりして報告がない人が含まれているため、単純に行方不明の数字ではない。

**小畑議員** 孤独死については、簡単な問題ではない。近所の人に看取られていくのが命の尊さと思うので、行政は地域と密着した対策を推進してほしい。



まえかわ おさむ 愛野町  
前川 治 議員

## 都市計画マスタープランは

**前川議員** 都市計画マスタープランを策定されたが、策定するに至った経緯と必要性を示されたい。

**奥村市長** 合併に対応した一体的なまちづくりを進めるため、法の規定に基づき策定したもので、合併協定項目の一つでもあった。

**前川議員** 都市整備のための制度計画、実施計画を進められると思うが、総合計画との整合性はどのようになっているのか。

**緒方建設整備部長** 各分野において都市計画マスタープランから踏み込ん

だ分野ごとの計画づくりが必要だが、総合計画に即することを念頭に整合性を図っている。

**前川議員** プランを具現化していくには相等の財源を要するが、国の制度資金等はどうなっているのか。

**緒方部長** 整備事業に、それぞれ国の補助あるいは交付税措置等もあり、おおむね55%の補助率となっている。

**前川議員** 土地利用規制の制定において、市民に不都合が生じないか、どの程度の規制を考えているのか。

**緒方部長** 都市計画区域に指定されると家を建築する時、建築確認申請が必要となる。市街化区域及び市街化調整区域については、考えていない。

## 観光戦略をどう捉えるか

**前川議員** 国の観光立国戦略をどう捉え、市は取り組むのか。

**中山観光物産まちづくり推進本部長** 国は訪日外国人を2020年初めまでに2500万人にすることを打ち出し、具体的政策を今年度から実施される。市はこの政策に沿い、交流人口の拡大を計りたい。

**前川議員** 外国人の誘客特に東アジアからの誘客に力を入れるべきと思うが。

**中山本部長** これから取り組みを強化したいのは中国、韓国、台湾からの誘客である。市長にトップセールスマンになってもらい、市のもつ資源を強力にアピールしていきたい。



韓国語、中国語で書かれた雲仙市のパンフレット



いわした まさひろ  
瑞穂町 勝議員

## 大正海岸の 高潮対策は

**岩下議員** 大正海岸の約9割護岸の整備が完了しているが、台風襲来時の大波による高潮での被害が懸念されている。消波ブロックの設置等の対策は出来ないのか。

**奥村市長** 県からは、現段階では消波ブロックの設置計画はないとの報告を受けているが、今後被害や施設の異状が確認された場合、速やかに県へ改善要望など対策をお願いする。



大正海岸

## 道路行政は

**岩下議員** 大正地区自治会長連盟で要望されている、市道の改良工事の今後の取り組みはどうか。

**緒方建設整備部長** 要望の5路線のうち緊急性が高いと判断した路線については、着手し、工事も完成している。残りの4路線については、他の路線と合せて総合的に判断していく。

**岩下議員** 市道西郷角江線の改良工事は合併前からの継続事業として拡幅整備されて、今年度で工事も完了の予定だが、グリーンロード上に架かる橋の手前より国見町方面

への取り付け道路の改良整備どうなっているか。

**酒井農林水産商工部長** 市としては計画的に農道改良事業も実施している。この取り付け道路の整備の必要性等も検討していく。

## 選挙投票会場 の変更は

**岩下議員** 先の参議院議員選挙において、市内3ヶ所の私立保育園での投票会場が変更になったがなぜか。

**山本選挙管理委員会委員長** インフルエンザ等の発生の際、極めて抵抗力の弱い乳幼児が通園する保育園については、外部からのウイルス等の持ち込みが懸念されるために変更した。今後、投票所の設置については、公共施設を中心とした統廃合を含めた見直しについて、鋭意検討を行っていく。



ふかほり よしあき  
国見町 善彰議員

## 公共下水処理 事業の方向性 を示せ

**深堀議員** 管内下水道未整備地区を今後どうするのか。また、個人で管理する合併処理浄化槽の維持管理費補助金の格差をどう解決するのか。

**奥村市長** 本市下水道事業検討委員会において、協議・検討し、平成22年度中に計画の見直し及び整備の方向性を見出し、平成23年度中には議会に對し説明をする。

## 大切な教育行政、 今後の方針は

**深堀議員** 来年度から、小・中学校において、新しい学習指導要領が実施される。そこで、本市の宝である児童生徒子ども達のための、本市教育の柱である教育方針は。

**塩田教育長** 明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくりを推進するために、本市教育方針を定め、郷土の自然、歴史、文化に誇りを持ち、国際社会に貢献できる調和のとれた個性豊かな人間の育成を図る。また、教育に携わる者は、深い教育愛と優れた指導力を身につけ、教育の充実・発展に努める。

**山野教育次長** 子ども達を心底愛する教育愛・使命感、指導力ある教職員を育てて行く。そのためには、日々の教育活動に全力で取り組むことが、そういう教職員に近づくと思う。

充実させるためには、校内での研究や研修会の開催、そして現在県で行っている人事評価制度と学校評価の推進により、理想とする人間像、教師

像に近づけると思う。

## 個人情報の 管理、事務の 取り扱い

**深堀議員** 国会で度々論議が執り行われているが、事務の取り扱い、国が管理するような最重要個人情報だと思ふ。しかし、現在この管理は、地方自治体の管理及び事務と聞かぬか。

**東市民生活部長** 本市独自の要領は無く、国による統一基準も無いので、長崎県戸籍住民基本台帳事務協議会の事務処理マニュアルに基づき、厳格な事務処理を行っている。  
**深堀議員** 本市の重要な事務である犯歴管理の事務取り扱いに限らず、慎重に取り扱わなければならない事務があると思ふ。この期に各所管は点検し、要領等の制定を検討されたい。



さかい きよとし  
南串山町  
酒井 恭二 議員

## 博多に「キトラス」オープン

**酒井議員** 長崎市、佐世保市、そして、雲仙市の3市合同によるアンテナショップ出店となった経緯と、どうして島原半島県央圏との共同でなかったのか。

**奥村市長** 以前から構想としてあり、長崎市よりの誘いを内部で検討し、共同出店を決めた。島原半島3市は協力しあう部分もあるが、互いに競争していく部分も必要であると考えている。

**酒井議員** 島原半島3市共同より、長崎市、佐世保市との共同の方が成果が期待できると考えたのか。また、この県内2大都市との共同に危惧する点は。

**奥村市長** 県北地区の佐世保市、県央地区の長崎

市、そして県南地区の本市の共同は、それぞれの特色を生かした魅力ある店舗になると考えた。危惧する点は多々あるが、職員一同、身を引き締め頑張る。

**酒井議員** この事業の目的、運営方法、そして経費は。

**中山本部長** 目的は、物産の販路拡大、観光客誘致。運営は、3市によるアンテナショップ協議会がプロポーザル方式によって選定した庄屋フーヅシステム等が行う。経費については、本年は初期投資を含む約、3分の1の経費、5290万円を負担する、次年度については、実質負担790万円となる。

**酒井議員** 出店の経費について、3市平等であったとしても、結果は違ってくる。成果が上がらない市が「事業をやめたい」となる可能性があると思うがその際の処理は。

**中山本部長** どのように処理するかは決めていない。本市がそうならないように頑張る。

**酒井議員** 公設民営となるショップの経営に、市はどこまで口出しできるのか。

**中山本部長** 毎月最低でも1回はアンテナショップ協議会を開く。



アンテナショップ「キトラス」

**酒井議員** 雲仙ブランド、うんぜん逸品にも、ひけをとらない物産がまだまだあると思うが、その掘り起こしについては主力とどの物産は、一次、二次のどちらなのか。出品は、団体、個人どちらの推進か。物産販売の目標額は。仕入れ方法は、生産者に負担のかからない買取仕入れを推進すべきと考えるが。

**中山本部長** 新たな物産の掘り起こしを推進していく。農水産物をメインにしたい。最初は、小規模な組織が主になる。物産販売の目標額は、今年度、半年で8600万円、来年度、約1億8000万円を設定している。仕入れ方法は販売形態が4つあるが、買取、委託等があるが、議員の意見は、アンテナショップ協議会へ伝える。

**酒井議員** 決して、運営が偏ったものにならないよう、誰でも出品できるような公平な運営を願う。



おだ こうめい  
国見町  
小田 孝明 議員

## 2人の幼児の命を救えなかつたのか

**小田議員** 7月30日大阪市で1歳と3歳の子が1ヶ月の間、部屋で放置され餓死にしているのが見つかった。このようにならないように、市はどう対応しているか。

**奥村市長** 児童の命や安全を守るため、各機関の連携強化、相談体制の充実を図り早期発見、早期対応に万全を期したい。

**酒井市民福祉部長** 現在、市では児童虐待11件に対応している。

虐待などの通告があった場合はまず24時間以内に対象児の目視、安全確認を行うことを基本にして、市福祉事務所と関係機関と連携して対応している。

**山野教育次長** 子どもの小さな変化を見逃さないよう観察を重視している。欠席の連絡がない場合は、保護者と連絡確認する。定期的な体重測定などに養護教諭と注意深く観察する。気になる子どもがいた場合、全職員で情報共有し、児童、民生委員さんと連携している。

**小田議員** 昼夜関係なく起りうるので24時間体制をとれないか。子どもの立場、命を念頭に一刻を争うスピードが大切である。

**酒井部長** 24時間体制ではなく24時間連絡体制をとっている。

## 宮崎病院はなぜ撤退するのか

**小田議員** 公立新小浜病院は黒字で人気も良いのに来年度4月1日からの経営に必要ない理由は。

**奥村市長** どういう理由か憶測しかねる。

**小田議員** 新聞記事は雲仙島原保健組合と公立新

小浜病院（宮崎病院）には相互不信があると言っている。相互に言い分があるようだが、市長（管理者）は宮崎病院は誠意をもって契約の履行と、来年度の医療サービスの確保等から強く協力をお願いする気はあるか。

**奥村市長** 来年度4月1日からは苑田会が経営される。宮崎病院の10年間の活動に感謝し、またそれまでの引き継ぎをお願いし、市民が安心して受診できる体制をとっていきたい。

## 高齢者に大切なタクシー券

**小田議員** 平成21年度60枚限度のタクシー券を166人が使用している。全体で7万5644枚が使用され、病院の通院に50%が利用されている。高齢者7割の負担だが、どうしても必要であるが

**奥村市長** 高齢化が進む意見を踏まえ事業の重点化と見直しを行い、どのような形でやるか重点的に考えたい。



ふくだ だいと  
福田 大東 議員

## 雲仙市税等収入対策促進協議会の機能は

**福田議員** 市民税の滞納額が11億円を越えているが、「雲仙市税等収入対策促進協議会」は機能しているのか。

**山野教育次長** 十分とは言えないが、機能は果たしていると思う。

**富永農業委員会事務局長** 一定の目的は達成されていると考えている。

**福田議員** 多額な滞納の原因は何か。

**東市民生活部長** バブルの崩壊後の社会情勢の低

迷が一要因と考えている。

**福田議員** 県内13市の内雲仙市が最下位に位置している。経済情勢は同条件である。なぜ滞納整理が進んでないのか。

**東市民生活部長** 他市の場合、不納欠損処理がかなりなされている。本市の場合は、納税猶予をやっており滞納額が増えている。

**福田議員** 合併前、昭和時代からの滞納がある。滞納整理に着手しないと県内最下位からの脱出はできないと思うが。

**東市民生活部長** そういうことの積み重ねが原因と思う。合併後も市税で2億3千万、国保税で1億6千万円程度増えている。

**福田議員** 提案であるが市長・副市長直属の「特別対策チーム」を構築してはどうか。

**奥村市長** 対策を講じる

所存である。

**福田議員** 不納欠損処理は、身を切る思いで納税をされている方にとって馬鹿らしく納税意欲を損なう恐れがある。十分に注意をし、どうしても徴収できないものは整理をすることが必要である。体制作りを要望する。

## 国民健康保険 財政は

**福田議員** 国保財政が逼迫し24年度、3億円を超える赤字が予想され、予算が組めない状況であるが市長の腹案があるのか。

**奥村市長** 現時点では、色々考えているがなかなかここでお示しをできる状態ではない。

**福田議員** 国民健康保険財政については行政・議会・被保険者が一体となって取り組まなければ維持できないと考える。更なる努力を要望する。



しばた やすのぶ  
柴田 安宣 議員

## 国道251号 愛野交差点 付近の道路 改良は

**柴田議員** 愛野交差点付近の渋滞は半島一ということと地元5自治体と地権者の同意をそえて整備の要望をしていたが今回測量設計に入ると通達があり関係者は大変喜んでいて、両側に歩道をという声もある。交差点から交番の方への歩道の設置の要望もあるが現況はどうなっているか。

**奥村市長** 愛野交差点付近の歩道整備の要望があったので、市としても県に対して設置の要望を行った。現在実施中の事業に挿入すべく現地測量を行った。新に両側に歩

道となれば極めて厳しいと聞いている。地権者の承諾を前提として交番までの歩道の設置は今回の事業として取り組みたいと報告を受けている。

## サッカー競技 場建設は

**柴田議員** 国体で雲仙市はボクシング競技と、サッカー競技が選定され市としてはその実現に向けて全力で頑張るしかない。特別償や補助を活用すれば財政的に全く問題ないと思う。国体が終わった後でも多目的に活用できる施設を建設するならば費用対効果はクリアできる。競技場建設に向けてどう取り組むのか。

**奥村市長** サッカー競技場に関しては施設の内容、場所、経費等で関係者の皆様に心労をかけており、どういう形でいくのか早期に示さなければならぬが現在のところ考えていない。

**塩田教育長** 時間が迫っ

ている中、計画を示すことができない。より早く皆様に提案して方向性を詰めていきたい。

## 市税、国保税の滞納対策は

**柴田議員** 市になって税の徴収率が2・5%低下している。欠損分収入未済合計で14億円になり国保にしても年平均7680万滞納が増えたことになり国保の運営に行き詰まる可能性につながる。今後どうするのか。

**奥村市長** 基本的に医療費を下げることで、徴収率を上げていくこと、その努力をした上で国保税の事も相談しなければならぬ。

**柴田議員** 口座振替が76%であるが振替が安易に出来る様に考慮してもらい納税組合の復活も検討して税の公平性に向けて努力してもらいたい。



うへだ あつし  
瑞穂町  
**上田 篤 議員**

乳幼児医療費が現物給付へ 窓口で800円だけ

**上田議員** 上田議員 来年4月から長崎県下の20市町が（乳幼児医療費の）現物給付となる予定と新聞にあった。中村新知事の英断だと思う。雲仙市ではどうなるか。

**奥村市長** 市は来年4月1日導入に向けて準備を進める。現物給付になれば、病院では本人負担額（800円）だけを払い、残りは病院が市へ請求することになる。

**上田議員** 現物給付制度になると利用率が高まると思うが、市の出費などはどうなるか。

**酒井市民福祉部長** 現在より1500万円ほど増額となるみこみだ。

**上田議員** 出費が増えても、市長は断固として実施するというので嬉しく思う。全国では、中学校卒業まで実施しているところもあるので、検討してもらいたい。

雲仙ファサード  
整備事業工事費  
は高すぎる

**上田議員** 雲仙古湯地区を中心にファサード整備事業が進められている（ファサードとは建物正面の外観という意味）20年度に7件、21年度に21件が完了しているが、審査などはどうなっているか。

**中山観光物産まちづくり推進本部長** 工事終了後に実績報告書、契約書の写し、工事代金支払い証明書を出させ審査している。また、建物改修の

見積書と図面により、まちづくり委員会のコンサルタントと市の担当者（2級建築士資格所有者）で現地照合をしている。

**上田議員** 建物正面の外観工事約500万円前後というのは高くないか。

**中山本部長** 設計、外構取り壊し、改修工事などもあり、適正価額だと思う。

**上田議員** 現在は、総額1500万円あれば平均的な住宅が新築できると聞くが、建物正面の外観工事だけで500万円というのはやはり高いのではないか。実績報告書で全く違う造りの2軒が、びつたり600万8千円で同じというものがあつた。これは、業者が「補助金だから」と安易に考え、精査しないで請求しているのではないか。再度厳格に調べて報告をしてもらいたい。

## 雲仙市民運動会へ参加しました

平成22年10月17日(日)に愛野総合運動公園において、第3回雲仙市民運動会が開催されました。

雲仙市議会からも議員8名が「安全運転」(リムころがし)に出場し、秋空の下さわやかな汗を流しました。

思いどおりに動いてくれないリムに苦戦しながらも、8チーム中6位という成績でした。



市議会チームで出場した選手8名  
(石田議長、松尾副議長、中村一明議員、森山議員、大久保信一議員、平野議員、坂本議員、林田議員)



アンカーは石田議長が務めました

# 全国で広がる「議会基本条例」 雲仙市では



全国で「議会基本条例」の制定が広がっています。「議会基本条例」とは、議会や議員の活動のあり方を定め、地方議会の更なる活動の活性化を図り、住民のための議会をつくっていかうというものです。

雲仙市では昨年9月に制定されました。これは長崎県下で大村市に続き、2市目です。

条例の一部を紹介します。

## 雲仙市議会基本条例（抜粋）

平成21年9月17日制定。全11章23条のうち、第2条、第3条を紹介します。

### （前文）

議員は、協働のまちづくりを実現のため、市民への情報発信と市民からの意見の収集を積極的に行い、政策立案能力の向上に努め、あわせて議会での意思決定に関する説明責任を果たす必要がある。

ここに議会の公平性・透明性を確保することにより、市民に開かれて議会、市民参加を推進する議会を目指して「雲仙市議会基本条例」を定めるものである。

### （議会の活動原則）

第2条 議会は、次に掲げる原則に基づき活動を行わなければならない。

- (1) 公平性及び透明性を確保し、市民に開かれたわかりやすい議会運営を行うこと。
- (2) 市民の多様な意見を的確に把握し、市政に反映させるための議会運営に努めること。
- (3) 市民にとって、分かりやすい言葉を用いた説明に努め、議会への関心を高める議会運営を行うこと。
- (4) 議会内での申し合わせ事項は、不断に見直しを行うこと。

### （議員の活動原則）

第3条 議員は、次に掲げる原則に基づき活動を行わなければならない。

- (1) 議会が言論の府であること及び合議制機関であることを十分認識し、議員間の自由な議論を積極的に行うこと。
- (2) 市政の課題全般について、市民の意見を的確に把握するとともに、自己の能力を高めるための研さんに励み、市民の代表として活動すること。
- (3) 議会の構成員として、一部団体及び地域の代表にとらわれず、市民全体の福利の向上を目指して活動すること。

会期 11月30日(火)～12月22日(水) (23日間)

月日	曜	会議時刻	種別	内 容	月日	曜	会議時刻	種別	内 容
11月30日	火	10:00	本会議	開会、議長報告、市長報告、委員長報告、質疑・討論・採決 議案上程、提案理由説明	11日	土		休 会	
					12日	日		休 会	
12月1日	水		休 会	議案調査日	13日	月	10:00	本会議	議案質疑・委員会付託
2日	木		休 会	議案調査日	14日	火	10:00	委員会	付託案件審査 (産業建設委員会)
3日	金		休 会	議案調査日	15日	水	10:00	委員会	付託案件審査 (文教厚生設委員会)
4日	土		休 会		16日	木	10:00	委員会	付託案件審査 (総務委員会)
5日	日		休 会		17日	金	10:00	委員会	委員会審査予備日
6日	月	10:00	本会議	市政一般質問	18日	土		休 会	
7日	火	10:00	本会議	市政一般質問	19日	日		休 会	
8日	水	10:00	本会議	市政一般質問	20日	月	10:00	委員会	委員会審査予備日
9日	木	10:00	本会議	市政一般質問	21日	火	10:00	委員会	議会運営委員会
10日	金	10:00	本会議	市政一般質問	22日	水	10:00	本会議	委員会報告 質疑・討論・採決 閉会

あくまでも予定ですので、市政一般質問者数などにより日程が変わることもあります。  
詳細については、11月22日(月)開催予定の議会運営委員会で決定されます。

## 編 ● 集 ● 後 ● 記

雲仙市議会改選後、早くも1年が過ぎ、議会として通算4回の定例会内容を主とする議会だよりの発行となります。

この間提案された117議案の内100件が原案可決、11件が継続審議、3件が修正可決、3件が否決となつていきます。継続議案は21年度決算承認議案で現在審査中、12月議会で議決予定です。修正は公共施設使用料金や国保税の大幅引上げの減額や補正予算額の修正であり、否決は人事・条例改正・賠償議案であります。議案は質疑や所掌の常任委員会での審議結果を受け討論後議決がされています。

また、一般質問は通



### 議会広報編集 特別委員会

- 小田 孝 明
- 上田 篤 明
- 中村 一 孝
- 大久保 信 一
- 浦川 康 二
- 平野 利 和
- 酒井 恭 二
- 坂本 弘 幸
- 林田 幸 樹

○委員長  
副委員長

平成22年11月1日発行/第22号 発行 雲仙市議会  
〒859-1107 長崎県雲仙市吾妻町牛口西714 ☎0957-383111 FAX0957-382252 編集 議会広報編集特別委員会 H A P T A S http://www.city.unzen.nagasaki.jp/ Eメール info-unzen@city.unzen.nagasaki.jp